

武蔵野市交通バリアフリー事業計画実施推進委員会 ー第4回ー

日 時：平成19年2月19日（月）18時00分～20時20分

場 所：武蔵野市役所802会議室

出席者：委員 清水委員、伊藤委員、横山(康)委員、横山(正)委員、後藤委員、
入江委員、榎本委員、井上委員、(欠席：関根委員、檜山委員)

事務局 伊藤まちづくり調整担当課長、田中主査、近藤主事

ー 議事要旨 ー

□資料確認

□開 会

□提言書(案)について

事務局より、提言書(案)の説明。

委員長より、まちづくりへの提言(まとめ)について説明。

□委員より、改善・指摘された事項

- 1) 事業の進捗状況一覧表の記載方法(記号などをわかりやすく、凡例・図対番号を追加)
- 2) 事業の進捗状況一覧表と評価項目の関連性(見易さ、ページ等の挿入)
- 3) 重点整備地区図を表の前に入れる。3駅それぞれに事業のあるものから記載する。
市全域で共通している事業内容(バス事業者、警視庁・警察)は、まとめて最後に記載する。
- 4) 特定事業計画実施に対する評価(事業実施状況・評価の記載方法の見直し、実施状況の追加)
- 5) 評価の総括を追加

□1年間を振り返り、委員より一言

清水委員長：今回の委員会が最後になりますので、委員より一言お願いします。

横山(康)委員：こういった委員会に参加したのは初めてで、参加できて良かったと思っています。委員会の回数こそ少なかったものの、実際に現地をみて、あらゆる問題点がみえて、改めて、現地をみることの大切さを知りました。もう少し現地をみる機会があれば、もっといろいろな改善すべき点が見えたのではないかと感じています。また、委員会を通じて感じたことですが、バス事業者や鉄道事業者などで実施されている「心のバリアフリー」が大変印象に残っており、今後もこういった活動を広げていただきたいと思います。

後藤委員：一番良かったのは市道第225号線(本町新道)で、市として事業に取り組み、歩道には植木やベンチなどが設置されているのをみると、このまちに住んでいて良かったと思いました。車いすを利用する私が、みなさんと一緒に、実際に駅を回ることができ、いろいろと改善すべき点がみなさんと認識できたことが良かったと思います。また、特定事業者もこの委員会に参加いただくなど、真剣に事業に取り組まれていることが分かり、感激いたしました。良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。

- 榎本 委員：私も現地視察が一番良かったと思います。地理を頭に描き、周りの方のお話を聞きながら、歩かせていただきました。三鷹市の目の悪い方が、よく吉祥寺駅を利用するそうですが、武蔵野市は歩きやすいとっておりました。歩道と歩道をつなぐエスコートゾーンが、もっと設置されることを望みます。また、エスコートゾーンの維持管理もあわせてお願いします。
- 伊藤 委員：もっと言いたいことはたくさんありました。五日市街道など歩道の狭いところを改善して欲しい、三鷹駅南口にはペDESTリアンデッキがあるが北口にもつくって欲しいなど、たくさん話したいことがありました。委員会の中で、話しきれなかったことが残念です。
- 入江 委員：提言書(案)の評価について、今日の委員会で議論が展開されたわけですが、進捗状況を明示したうえで、個々の事業の問題点ははっきり記載してまとめておくことが大切ではないかと感じました。評価の総括を追加していただければありがたい。
- 横山(正)委員：駅のエスカレーターを設置されたことにより、階段を利用する人が少なくなった光景をみると、ポスター等で階段利用を促してもいいのではと感じました。おそらく第3回委員会で私が提案したことにより、三鷹駅券売機の前に以前設置されていたディスプレイがなくなったのを見て、バリアフリーの視点から考えると良くなったのですが、ちょっと殺風景に感じました。あれはあれで風情があったのかなと少々複雑な思いです。市内を駆け回ったなかで、市道第73号線の歩道改修工事では、道路の風情などを考慮しながら、こんなに苦労してつくっているのかということが分かり、感激いたしました。道路標識など街の見方も変わりました。良い1年間だったと思います。
- 井上 委員：いろいろな形の中で、委員の皆様にはご協力いただきましてありがとうございました。進捗状況および評価等を踏まえ、これから市としても、事業者とともに、さらにより良くしていきたいと考えております。また、前期に予定されていたが実施されていない事業は、平成22年度までの完成を目指して、今後も協議をしていきたいと考えております。今後もバリアフリー新法も踏まえたユニバーサルデザインによるまちづくりのなかで、準特定経路もふくめ、できる範囲の中で整備を進めていきたいと考えております。また、バリアフリー新法では公共施設も含めて整備していくこととなりますので、市民委員の方を中心に、現在、長期計画・調整計画の見直しを検討されておりますので、皆さんの意見をできるだけ取り入れながら、整備していきたいと考えております。1年間ありがとうございました。
- 清水委員長：現場を見る機会は、いろいろ得るところが多かった。日常生活の中で話し合ってみて、いろいろな所を回る機会をつくり、問題点を抽出するだけでなく、こんなに楽しいまちであることを発見していただきたいと思います。まちの魅力を探す・発見する活動が日常的に展開され、活動のなかでの発見が、小さな組織であったとしても、反映できる・参加できるような仕組みができると思います。みなさん、お疲れ様でした。

以上